

国際法の視点で考える時事問題の解説

研究者プロフィール

- ・ 法学部法律学科 准教授 松浦 陽子
- ・ 国際法
- ・ 国際災害支援、WHOの活動における人権の尊重
並びに誤情報・偽情報・インフォデミックへの対応
- ・ 国際法学会、世界法学会等
- ・ 東北学院大学法学部及び大学院出身



研究内容

- ・ 国際災害支援に関し、現在国連で議論が進んでいる「災害時における人の保護」に関する条文草案を検討しています。
- ・ 新型コロナパンデミックへの対応に関し、国際法の視点で検討しています。国際人権法、情報に対する権利、国際社会による誤情報・偽情報・インフォデミックへの取り組み、などです。
- ・ 国際法の視点から時事問題の解説をしてきました。例えば、ロシアによるウクライナ侵攻をめぐり、市民向けの講義や高校への出張講義を行いました。国連の役割、国際法の重要原則である武力行使禁止原則の意義、ジェノサイドに関する国際法、国際刑事裁判所等の説明をしました。

関連キーワード

国際災害支援、誤情報・偽情報、インフォデミック、時事問題（武力行使の禁止等）

地域・産学官連携の可能性、事業化のイメージ他

- ① 国際法の視点から時事問題を解説します。一般的な「講義+質疑応答」という講義形式だけではなく、アクティブ・ラーニングも可能です。対面・オンラインいずれも対応できます。
- ② 多様な情報が氾濫する現在、自ら一次資料を取りに行く主体性が益々重要になっています。国際法が関連する問題に関し、国連やWHO等の一次資料を読み解くことは、普段のものの見方の参考になると思います。資料の提示や翻訳等も可能です。

研究者への連絡先

産学連携推進センター
E-mail srcenter@mail.tohoku-gakuin.ac.jp
電話 022-354-8122